

Q001 ○ × | 外観点検

消火器の外観点検では、本体容器の腐食・変形・損傷を確認する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：容器異常は安全性と機能に直結する。

要点：外観点検

Q002 ○ × | 圧力

蓄圧式消火器では、圧力指示計の確認は不要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。蓄圧式消火器では、圧力指示計の指針が適正範囲にあるか確認する。

要点：圧力

Q003 4択 | ホース / ノズル

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. ノズルが完全に詰まっても、薬剤は必ず正常に放射される。
4. ホースやノズルの亀裂・変形・詰まりは、放射障害の原因となる。

答え・解説

正答：4. ホースやノズルの亀裂・変形・詰まりは、放射障害の原因となる。

解説：薬剤の通路の異常は放射に直接影響する。

要点：ホース / ノズル

Q004 ○ × | 設置

消火器の設置場所は、見やすく、使用時に取り出しやすい状態であることが重要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：初期消火のため迅速に使用できることが重要。

要点：設置

Q005 ○ × | 表示

使用方法表示が消えていても、点検上は一切問題にならない。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の使用方法表示が読めない状態は、使用時の誤操作につながる。

要点：表示

Q006 4択 | 安全栓

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認6）

1. 安全栓や封印は点検では確認しなくてよい。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 安全栓・封印の状態は、消火器が不用意に操作されていないか判断する手掛かりになる。

答え・解説

正答：4. 安全栓・封印の状態は、消火器が不用意に操作されていないか判断する手掛かりになる。

解説：安全栓・封印の欠落は不正操作や使用済みの疑いにつながる。

要点：安全栓

Q007 ○× | 設置環境

湿気や腐食性雰囲気は、消火器容器や部品の劣化を進める要因になる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：設置環境は腐食・劣化リスクに影響する。

要点：設置環境

Q008 ○× | 整備

消火器の部品は、形が似ていれほどのメーカー・型式のものでも無条件に流用できる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の薬剤や部品は、型式や仕様に合ったものを用いる必要がある。

要点：整備

Q009 4択 | 設置

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認9）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消火器の点検では、転倒・落下・いたずらを受けにくい状態かも確認する。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：2. 消火器の点検では、転倒・落下・いたずらを受けにくい状態かも確認する。

解説：固定・設置状態は安全性と使用性に関わる。

要点：設置

Q010 ○× | 老朽化

老朽化した消火器は、外観が似ていても内部腐食や圧力異常の危険がある。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：経年劣化は点検・交換判断の重要要素。

要点：老朽化

Q011 ◯ × | 安全栓

消火器の安全栓は、消火薬剤を火元へ噴射する先端部である。この記述は正しいか。(類似論点確認 3)

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

要点：安全栓

Q012 4択 | ホース / ノズル

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。(確認12)

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. ホースやノズルが詰まっても、消火器の放射性能には影響しない。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

答え・解説

正答：4. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q013 ◯ × | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。この記述は正しいか。(類似論点確認 4)

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：◯

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q014 ◯ × | 加圧式

加圧式消火器は、圧力を一切使わず薬剤を自然落下させる。この記述は正しいか。(類似論点確認 4)

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

要点：加圧式

Q015 4択 | 圧力指示計

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。(確認15)

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 圧力指示計は、蓄圧式消火器などの内部圧力状態を確認するために用いられる。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：3. 圧力指示計は、蓄圧式消火器などの内部圧力状態を確認するために用いられる。

解説：圧力指示計の指針位置は点検上重要。

要点：圧力指示計

Q016 ○ × | 本体容器

消火器本体容器の著しい腐食や変形は、強度や安全性に関わる重要な不良である。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：容器の腐食・へこみは破裂や放射不良のリスクにつながる。

要点：本体容器

Q017 ○ × | 使用済み

使用済みの消火器は、薬剤が残っていてもそのまま設置できる。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。使用済みの消火器は、再充填や交換などの整備対象になる。

要点：使用済み

Q018 4択 | 表示

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認18）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 消火器の表示では、適応火災や使用方法を確認できる。

答え・解説

正答：4. 消火器の表示では、適応火災や使用方法を確認できる。

解説：表示は選定・設置・使用判断に関わる。

要点：表示

Q019 ○ × | 設置

消火器は、必要時にすぐ取り出せる場所に設置されていることが重要である。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：初期消火用のため、視認性と取り出しやすさが重要。

要点：設置

Q020 ○ × | 封印

封印の破損は、点検上まったく確認する必要がない。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の封印が破れている場合、使用済みや不正操作の可能性を確認する。

要点：封印

Q021 4択 | A火災

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認21）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：3. 普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災

Q022 ○× | B火災

油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：油火災はB火災として扱われる。

要点：B火災

Q023 ○× | C火災

電気火災は、油脂類だけが燃える火災をいう。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

要点：C火災

Q024 4択 | 外観点検

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認24）

1. 消火器の外観点検では、本体容器の腐食・変形・損傷を確認する。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 消火器の外観点検では、本体容器の腐食を確認しない。

答え・解説

正答：1. 消火器の外観点検では、本体容器の腐食・変形・損傷を確認する。

解説：容器異常は安全性と機能に直結する。

要点：外観点検

Q025 ○× | 圧力

蓄圧式消火器では、圧力指示計の指針が適正範囲にあるか確認する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：圧力不足や過圧は放射性能・安全性に関わる。

要点：圧力

Q026 ○ × | ホース / ノズル

ノズルが完全に詰まっても、薬剤は必ず正常に放射される。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。ホースやノズルの亀裂・変形・詰まりは、放射障害の原因となる。

要点：ホース / ノズル

Q027 4択 | 設置

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認27）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 消火器は、使用時に探すのが難しい場所へ隠しておく方が望ましい。
3. 消火器の設置場所は、見やすく、使用時に取り出しやすい状態であることが重要である。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：3. 消火器の設置場所は、見やすく、使用時に取り出しやすい状態であることが重要である。

解説：初期消火のため迅速に使用できることが重要。

要点：設置

Q028 ○ × | 表示

消火器の使用方法表示が読めない状態は、使用時の誤操作につながる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：表示は緊急時の正しい使用に関わる。

要点：表示

Q029 ○ × | 安全栓

安全栓や封印は点検では確認しなくてよい。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。安全栓・封印の状態は、消火器が不用意に操作されていないか判断する手掛かりになる。

要点：安全栓

Q030 4択 | 設置環境

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認30）

1. 湿気や腐食性雰囲気は、消火器容器や部品の劣化を進める要因になる。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消火器は、強い腐食性雰囲気でも劣化しないため確認不要である。

答え・解説

正答：1. 湿気や腐食性雰囲気は、消火器容器や部品の劣化を進める要因になる。

解説：設置環境は腐食・劣化リスクに影響する。

要点：設置環境

Q031 ○ × | 整備

消火器の薬剤や部品は、型式や仕様に合ったものを用いる必要がある。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：不適合部品は性能や安全性を損なう。

要点：整備

Q032 ○ × | 設置

消火器は床に転がしておく方が、いつでも使いやすいので適切である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の点検では、転倒・落下・いたずらを受けにくい状態かも確認する。

要点：設置

Q033 4択 | 老朽化

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認33）

1. 老朽化した消火器は、外観が似ていても内部腐食や圧力異常の危険がある。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：1. 老朽化した消火器は、外観が似ていても内部腐食や圧力異常の危険がある。

解説：経年劣化は点検・交換判断の重要要素。

要点：老朽化

Q034 ○ × | 安全栓

消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。この記述は正しいか。（類似論点確認3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：安全栓はレバーの不用意な作動を防ぐ部品。

要点：安全栓

Q035 ○ × | ホース / ノズル

ホースやノズルが詰まっても、消火器の放射性能には影響しない。この記述は正しいか。（類似論点確認3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

要点：ホース / ノズル

Q036 4択 | 蓄圧式

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認36）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。
3. 蓄圧式消火器は、使用時に初めて外部ポンプで水を注入する方式である。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：2. 蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q037 ○× | 加圧式

加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。この記述は正しいか。（類似論点確認 3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：加圧式は操作時のガス加圧で薬剤を押し出す。

要点：加圧式

Q038 ○× | 圧力指示計

圧力指示計は、消火薬剤の色を変えて適応火災を判定する装置である。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。圧力指示計は、蓄圧式消火器などの内部圧力状態を確認するために用いられる。

要点：圧力指示計

Q039 4択 | 本体容器

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認39）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
3. 消火器本体容器の著しい腐食や変形は、強度や安全性に関わる重要な不良である。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：3. 消火器本体容器の著しい腐食や変形は、強度や安全性に関わる重要な不良である。

解説：容器の腐食・へこみは破裂や放射不良のリスクにつながる。

要点：本体容器

Q040 ○× | 使用済み

使用済みの消火器は、再充填や交換などの整備対象になる。この記述は正しいか。（類似論点確認 3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：使用後は薬剤量・圧力などが正常でないため整備が必要。

要点：使用済み

Q041 ◯ × | 表示

消火器の表示は装飾目的だけで、点検や使用には関係しない。この記述は正しいか。（類似論点確認 3）

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の表示では、適応火災や使用方法を確認できる。

要点：表示

Q042 4択 | 設置

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認42）

1. 消火器は、必要時にすぐ取り出せる場所に設置されていることが重要である。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：1. 消火器は、必要時にすぐ取り出せる場所に設置されていることが重要である。

解説：初期消火用のため、視認性と取り出しやすさが重要。

要点：設置

Q043 ◯ × | 封印

消火器の封印が破れている場合、使用済みや不正操作の可能性を確認する。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：◯

解説：封印状態は未使用性や操作状態の確認に係る。

要点：封印

Q044 ◯ × | A火災

普通火災は、通電中の電気設備だけが燃える火災をいう。この記述は正しいか。

1. ◯
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。

要点：A火災

Q045 4択 | B火災

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認45）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。

答え・解説

正答：2. 油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。

解説：油火災はB火災として扱われる。

要点：B火災

Q046 ○ × | C火災

電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：電気火災はC火災として扱われる。

要点：C火災

Q047 ○ × | 外観点検

消火器の外観点検では、本体容器の腐食を確認しない。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の外観点検では、本体容器の腐食・変形・損傷を確認する。

要点：外観点検

Q048 4択 | 圧力

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認48）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 蓄圧式消火器では、圧力指示計の指針が適正範囲にあるか確認する。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：3. 蓄圧式消火器では、圧力指示計の指針が適正範囲にあるか確認する。

解説：圧力不足や過圧は放射性能・安全性に関わる。

要点：圧力

Q049 ○ × | ホース / ノズル

ホースやノズルの亀裂・変形・詰まりは、放射障害の原因となる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤の通路の異常は放射に直接影響する。

要点：ホース / ノズル

Q050 ○ × | 設置

消火器は、使用時に探すのが難しい場所へ隠しておく方が望ましい。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の設置場所は、見やすく、使用時に取り出しやすい状態であることが重要である。

要点：設置

Q051 4択 | 表示

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認51）

1. 消火器の使用方法表示が読めない状態は、使用時の誤操作につながる。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 使用方法表示が消えていても、点検上は一切問題にならない。

答え・解説

正答：1. 消火器の使用方法表示が読めない状態は、使用時の誤操作につながる。

解説：表示は緊急時の正しい使用に関わる。

要点：表示

Q052 ○× | 安全栓

安全栓・封印の状態は、消火器が不用意に操作されていないか判断する手掛かりになる。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：安全栓・封印の欠落は不正操作や使用済みの疑いにつながる。

要点：安全栓

Q053 ○× | 設置環境

消火器は、強い腐食性雰囲気でも劣化しないため確認不要である。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。湿気や腐食性雰囲気は、消火器容器や部品の劣化を進める要因になる。

要点：設置環境

Q054 4択 | 整備

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認54）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消火器の薬剤や部品は、型式や仕様に合ったものを用いる必要がある。
3. 消火器の部品は、形が似ていればどのメーカー・型式のものでも無条件に流用できる。
4. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。

答え・解説

正答：2. 消火器の薬剤や部品は、型式や仕様に合ったものを用いる必要がある。

解説：不適合部品は性能や安全性を損なう。

要点：整備

Q055 ○× | 設置

消火器の点検では、転倒・落下・いたずらを受けにくい状態かも確認する。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：固定・設置状態は安全性と使用性に関わる。

要点：設置

Q056 ○ × | 老朽化

古い消火器は、製造年や状態に関係なく永久に同じ性能を保つ。この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。老朽化した消火器は、外観が似ていても内部腐食や圧力異常の危険がある。

要点：老朽化

Q057 4択 | 安全栓

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認57）

1. 消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消火器の安全栓は、消火薬剤を火元へ噴射する先端部である。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：1. 消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

解説：安全栓はレバーの不用意な作動を防ぐ部品。

要点：安全栓

Q058 ○ × | ホース / ノズル

消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。この記述は正しいか。（類似論点確認3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q059 ○ × | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、使用時に初めて外部ポンプで水を注入する方式である。この記述は正しいか。（類似論点確認3）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。

要点：蓄圧式

Q060 4択 | 加圧式

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認60）

1. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
2. 加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。
3. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：2. 加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

解説：加圧式は操作時のガス加圧で薬剤を押し出す。

要点：加圧式

Q061 ○ × | 圧力指示計

圧力指示計は、蓄圧式消火器などの内部圧力状態を確認するために用いられる。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：圧力指示計の指針位置は点検上重要。

要点：圧力指示計

Q062 ○ × | 本体容器

本体容器が著しく腐食していても、外観点検では問題にしない。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器本体容器の著しい腐食や変形は、強度や安全性に関わる重要な不良である。

要点：本体容器

Q063 4択 | 使用済み

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認63）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 使用済みの消火器は、再充填や交換などの整備対象になる。

答え・解説

正答：4. 使用済みの消火器は、再充填や交換などの整備対象になる。

解説：使用後は薬剤量・圧力などが正常でないため整備が必要。

要点：使用済み

Q064 ○ × | 表示

消火器の表示では、適応火災や使用方法を確認できる。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：表示は選定・設置・使用判断に関わる。

要点：表示

Q065 ○ × | 設置

消火器は、見つけにくく取り出しにくい奥まった場所に隠して設置するのが望ましい。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器は、必要時にすぐ取り出せる場所に設置されていることが重要である。

要点：設置

Q066 4択 | 封印

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認66）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消火器の封印が破れている場合、使用済みや不正操作の可能性を確認する。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. 封印の破損は、点検上まったく確認する必要がない。

答え・解説

正答：2. 消火器の封印が破れている場合、使用済みや不正操作の可能性を確認する。

解説：封印状態は未使用性や操作状態の確認に関係する。

要点：封印

Q067 ○ × | A火災

普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災

Q068 ○ × | B火災

油火災は、木材や紙だけが燃える火災をいう。この記述は正しいか。（類似論点確認 2）

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。油火災は、引火性液体や油脂類などが燃える火災をいう。

要点：B火災

Q069 4択 | C火災

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認69）

1. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
2. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
3. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。
4. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。

答え・解説

正答：3. 電気火災は、通電中の電気設備・電気器具などに関係する火災をいう。

解説：電気火災はC火災として扱われる。

要点：C火災

Q070 ○ × | 外観点検

消火器の外観点検では、本体容器の腐食・変形・損傷を確認する。【70】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：容器異常は安全性と機能に直結する。

要点：外観点検

Q071 ○ × | 圧力

蓄圧式消火器では、圧力指示計の確認は不要である。【71】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。蓄圧式消火器では、圧力指示計の指針が適正範囲にあるか確認する。

要点：圧力

Q072 4択 | ホース / ノズル

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認72）

1. 実技試験は、実際に現場で設備を施工する作業試験である。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
4. ホースやノズルの亀裂・変形・詰まりは、放射障害の原因となる。

答え・解説

正答：4. ホースやノズルの亀裂・変形・詰まりは、放射障害の原因となる。

解説：薬剤の通路の異常は放射に直接影響する。

要点：ホース / ノズル

Q073 ○ × | 設置

消火器の設置場所は、見やすく、使用時に取り出しやすい状態であることが重要である。【73】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：初期消火のため迅速に使用できることが重要。

要点：設置

Q074 ○ × | 表示

使用方法表示が消えていても、点検上は一切問題にならない。【74】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の使用方法表示が読めない状態は、使用時の誤操作につながる。

要点：表示

Q075 4択 | 安全栓

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認75）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
3. 安全栓・封印の状態は、消火器が不用意に操作されていないか判断する手掛かりになる。
4. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。

答え・解説

正答：3. 安全栓・封印の状態は、消火器が不用意に操作されていないか判断する手掛かりになる。

解説：安全栓・封印の欠落は不正操作や使用済みの疑いにつながる。

要点：安全栓

Q076 ○ × | 設置環境

湿気や腐食性雰囲気は、消火器容器や部品の劣化を進める要因になる。【76】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：設置環境は腐食・劣化リスクに影響する。

要点：設置環境

Q077 ○ × | 整備

消火器の部品は、形が似ていればどのメーカー・型式のものでも無条件に流用できる。【77】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の薬剤や部品は、型式や仕様に合ったものを用いる必要がある。

要点：整備

Q078 4択 | 設置

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認78）

1. 消火器は床に転がしておく方が、いつでも使いやすいので適切である。
2. 消火器の点検では、転倒・落下・いたずらを受けにくい状態かも確認する。
3. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：2. 消火器の点検では、転倒・落下・いたずらを受けにくい状態かも確認する。

解説：固定・設置状態は安全性と使用性に関わる。

要点：設置

Q079 ○ × | 老朽化

老朽化した消火器は、外観が似ていても内部腐食や圧力異常の危険がある。【79】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：経年劣化は点検・交換判断の重要要素。

要点：老朽化

Q080 ○ × | 安全栓

消火器の安全栓は、消火薬剤を火元へ噴射する先端部である。【80】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の安全栓は、誤操作による放射を防ぐ役割をもつ。

要点：安全栓

Q081 4択 | ホース / ノズル

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認81）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. ホースやノズルが詰まっても、消火器の放射性能には影響しない。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

答え・解説

正答：4. 消火器のホースやノズルに詰まり・亀裂があると、正常な放射が妨げられる。

解説：薬剤の通り道の不良は放射不良につながる。

要点：ホース / ノズル

Q082 ○× | 蓄圧式

蓄圧式消火器は、本体容器内に圧力が蓄えられている方式である。【82】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：蓄圧式は容器内の圧力で薬剤を放射する。

要点：蓄圧式

Q083 ○× | 加圧式

加圧式消火器は、圧力を一切使わず薬剤を自然落下させる。【83】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。加圧式消火器は、使用時に加圧用ガス容器などで本体容器内を加圧する。

要点：加圧式

Q084 4択 | 圧力指示計

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認84）

1. 圧力指示計は、消火薬剤の色を変えて適応火災を判定する装置である。
2. 消防設備士試験の乙種は、実技試験がなく筆記試験だけで判定される。
3. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
4. 圧力指示計は、蓄圧式消火器などの内部圧力状態を確認するために用いられる。

答え・解説

正答：4. 圧力指示計は、蓄圧式消火器などの内部圧力状態を確認するために用いられる。

解説：圧力指示計の指針位置は点検上重要。

要点：圧力指示計

Q085 ○× | 本体容器

消火器本体容器の著しい腐食や変形は、強度や安全性に関わる重要な不良である。【85】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：容器の腐食・へこみは破裂や放射不良のリスクにつながる。

要点：本体容器

Q086

○ × | 使用済み

使用済みの消火器は、薬剤が残っていてもそのまま設置できる。【86】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。使用済みの消火器は、再充填や交換などの整備対象になる。

要点：使用済み

Q087

4択 | 表示

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認87）

1. 消防設備士免状は、類別に関係なくすべての消防用設備等を扱える。
2. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。
3. 消火器の表示では、適応火災や使用方法を確認できる。
4. 消火器の表示は装飾目的だけで、点検や使用には関係しない。

答え・解説

正答：3. 消火器の表示では、適応火災や使用方法を確認できる。

解説：表示は選定・設置・使用判断に関わる。

要点：表示

Q088

○ × | 設置

消火器は、必要時にすぐ取り出せる場所に設置されていることが重要である。【88】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：○

解説：初期消火用のため、視認性と取り出しやすさが重要。

要点：設置

Q089

○ × | 封印

封印の破損は、点検上まったく確認する必要がない。【89】この記述は正しいか。

1. ○
2. ×

答え・解説

正答：×

解説：誤り。消火器の封印が破れている場合、使用済みや不正操作の可能性を確認する。

要点：封印

Q090

4択 | A火災

整備・点検・規格について、正しい記述はどれか。（確認90）

1. 普通火災は、通電中の電気設備だけが燃える火災をいう。
2. 普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。
3. 消防設備士乙種免状だけで、対象設備の工事を自由に行うことができる。
4. 消防用設備等は、設置後に点検や維持管理を行わなくてもよい。

答え・解説

正答：2. 普通火災は、木材・紙・繊維などが燃える火災をいう。

解説：普通火災はA火災として扱われる。

要点：A火災